発電用に供する木質バイオマスの証明された木材・木製品の取扱実績取りまとめ

平成29 年4月1日～平成30年3月31日

平成28年度	素材生産業者・原木市場・製材業者の方							チップ製造業者・製材業者でチップ販売の方									
	伐採量または入荷量(㎥)	うち間伐材等未利用材	うち一般材	出荷量				原材料入荷量(トン)	うち間伐材等未利用材	うち一般材	チップ出荷量				原材料在庫量(トン)	うち間伐材等未利用材	うち一般材
				発電用チップ加工向け (トン)	うち間伐材等未利用材	うち一般材	左記以外(㎥)				発電用所向け (トン)	うち間伐材等未利用材	うち一般材	その他向け(トン)			
71社中58社分	235,293	101,099	67,786	51,869	32,600	18,517	162,845	133,008	90,223	26,475	89,238	67,251	21,986	24,984	37,382	32,573	4,809

コメント	入荷総量に対して出荷量は発電向けが51,869トン（64,836m3）、その他向けが162,845m3で計227,681m3でその差は7,612m3。 ただし、この数字は入荷量、出荷量とも素材生産業者と市場や製材のダブル計上がある程度存在します。	原材料入荷量は左の出荷量に加え当会の認定でない者（森林組合のように他の認定団体の認定者）からの入荷もあり、かなりの量になっています。 ただ、県内の発電用チップ需要量は未利用材、一般材を合わせ20万トン近く必要であり、他県から多くのチップを入れていることが分かります。

平成29年度	素材生産業者・原木市場・製材業者の方							チップ製造業者・製材業者でチップ販売の方									
	伐採量または入荷量(㎥)	うち間伐材等未利用材	うち一般材	出荷量				原材料入荷量(トン)	うち間伐材等未利用材	うち一般材	チップ出荷量				原材料在庫量(トン)	うち間伐材等未利用材	うち一般材
				発電用チップ加工向け (トン)	うち間伐材等未利用材	うち一般材	左記以外(㎥)				発電用所向け (トン)	うち間伐材等未利用材	うち一般材	その他向け(トン)			
74社中65社分	191,710	95,151	33,537	75,763	60,972	10,067	106,382	95,938	47,097	31,366	69,318	54,790	25,035	27,965	21,237	16,022	5,215

コメント	素材の入荷（伐採）量は昨年度と比較して未利用材は８％減、一般材は約半分、リサイクル材はほぼ変わらずでトータル18.5%減となりました。 一方、発電用チップ加工向けの出荷は未利用材で25%増。一般材で12.5%増、リサイクル材を合わせ合計で46%の増となりました。 県内には当会以外の団体に認定を受けた事業者（森林組合など）があり、その数字はここに反映されていません。 また、この数字は入荷量、出荷量とも素材生産業者と市場や製材のダブル計上がある程度存在します。	昨年度から16千トンの原材料在庫が減少しているが、それを合わせても原材料入荷は16%減となっています。ただし、原材料入荷量は当会の認定でない者（森林組合のように他の認定団体の認定者）からの入荷もあり、トータルの入荷量の増減は分かりません。 入荷量の内、未利用材は昨年度に対し半分近くとなっています。左の出荷量から14千トンも少なくなっており、当会認定以外のチップ事業者又は他県のチップ事業者に流れたものと思われます。また、一般材の入荷は21千トン当会認定の事業者以外から入荷しています。 なお、県内の発電用チップ需要量は20万トン近く必要であり、他県から多くのチップを入れていることが分かります。

※昨年度末時点で原材料、出荷品の在庫があり、今年度末にも在庫があるため、入荷＝出荷とはならない。

※小数点以下を四捨五入しているため、一致しない部分がある。